



ジョブ型研究インターンシップ学生向け説明会

ITER機構



量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所
ITER日本国内機関

フュージョンエネルギーが 世界のエネルギー問題を解決する

世界が抱えるエネルギーの課題



気候変動

化石燃料の使用によるCO₂排出が、地球温暖化の原因となっています。



エネルギー需要が増大

AIの普及やデータセンターの拡大により、世界のエネルギー需要は今後も増え続けます。



エネルギーが偏在

石油や天然ガスなどの資源は一部の国に偏在し、安定供給にリスクがあります。



次世代への責任(SDGs)

将来世代に、よりよい地球と安定したエネルギーを引き継ぐ必要があります。



フュージョンエネルギーの特徴

-  脱炭素：CO₂をほとんど排出しない
-  豊富な燃料：海水などから長期的に確保可能
-  高い安全性：異常時には反応が自然に停止
-  環境負荷が低い：高レベル放射性廃棄物が出ない
-  安定供給：天候に左右されず大量の電力を供給



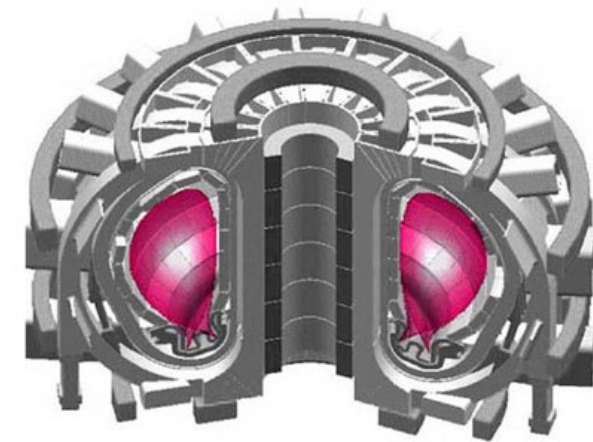
フュージョンエネルギーは、
これらすべての課題を同時に
解決できる**魅力あるエネルギー**

ITER機構

- 国際機関名：ITER機構
- 所在地：フランス（Saint=Paul=Lez=Durance）
- 設立：2007年
- 職員数：1,094名（内日本人職員59名）
- 目的：**平和目的のためのフュージョンエネルギーが科学技術的に成立することを実証**
- プロジェクトの目的：入力50MW → 出力 500MW, プラズマ状態400秒維持
- 日本の国内機関：量子科学技術研究開発機構（QST）

$$Q \geq 10$$

※Q：エネルギー増倍率（核融合で発生するパワーと、核融合反応を持続するためにトカマク内に注入する外部からの加熱パワーの比率）

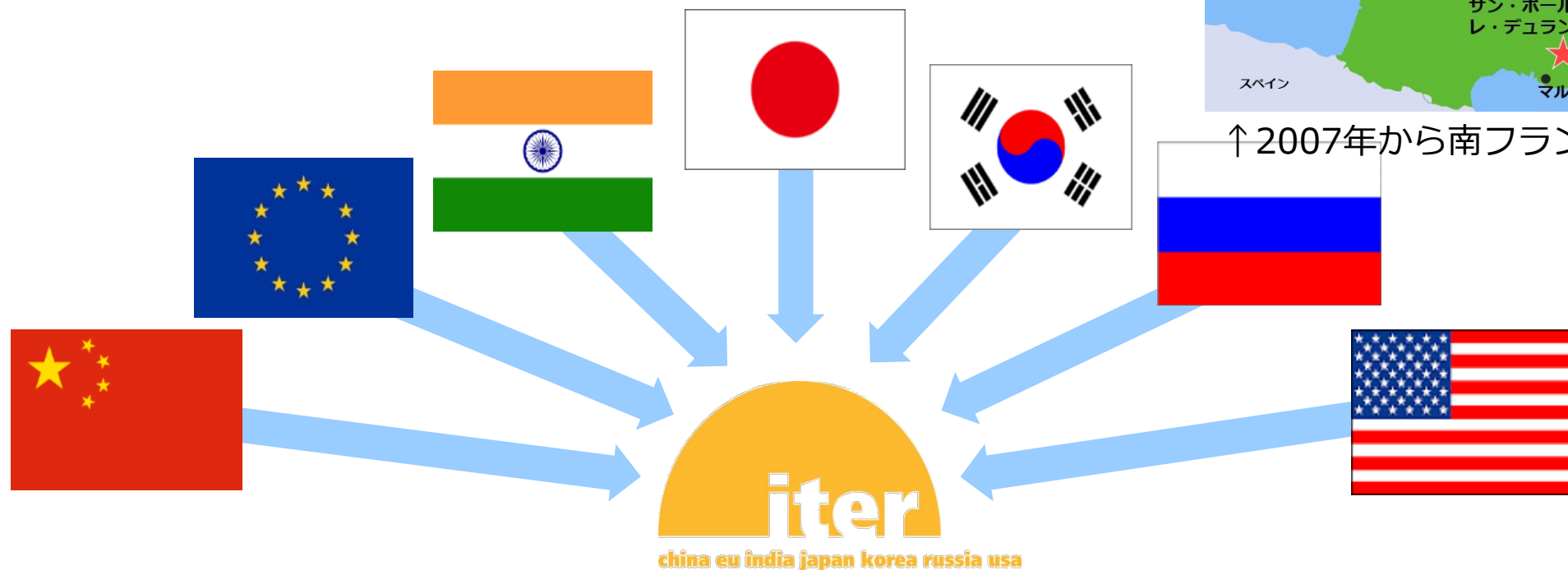


ITER
国際熱核融合実験炉

ITER参加極



↑2007年から南フランスに建設中



ITER機構

(ITER計画を統括する国際機関)

日本は、QSTがITER日本国内機関として役割を果たしています

ITERに必要な機器の製作・輸送／フランス現地への人員派遣

最新建設状況

プラズマを閉じ込める真空容器セクターモジュール 半分以上の据え付けが完了

世界最大の核融合実験炉ITERで、5基目の真空容器セクターモジュールの据え付けに成功。フュージョンエネルギー実現に向けたITER建設が着実に進展。



博士課程の方が参加できるプログラム

1

Internships

学士・修士・博士在学中



国際チームで実務経験

2

Postdoctoral Fellowship

博士卒/見込み者向け



世界トップレベルの研究環境へ

Internships



公募トピック数・対象分野

約50トピックス（第一弾・第二弾）

- 理工系：物理学、電気工学、情報工学、原子力工学、IT、解析、プロジェクト管理等
- 事務系：広報、法務、人事、調達・契約、マーケティング、メディア等

公募期間

第一弾：2026年11月
第二弾：2027年1月

参加期間

最大4年（個別対応）

応募資格

ITER参加国の国籍を有すること

（中国・EU・韓国・日本・インド・ロシア・アメリカ）

手当

- ・ 1,500ユーロ/月（2ヶ月以上参加の場合）
- ・ 往復旅費（最大1,200ユーロ:4ヶ月以上参加の場合）



Internships

選考タイムライン

- ・応募トピック選定
- ・応募書類準備

Web応募
1月初×切
2月末×切

書類審査
1月中旬
3月上旬

面接
1月下旬
3月中旬

合格
通知

渡航準備

ITER着任

▲支援

応募書類の英文添削

1人につき
5トピックまで応募可
(第一弾・第二弾共に)

▲支援

面接トレーニング

▲支援

生活支援



ITERで得られる3つの成長



世界基準の専門スキル

最先端設備・国際プロジェクトでの実務経験→グローバルに通用する技術力



国際コミュニケーション力

日常的に英語・多文化環境で働く経験→言葉の壁を越えて伝え・巻き込む力



プロジェクト推進力

巨大プロジェクトの一員としての役割→実行力・調整力

ITER機構公募への ご応募・ご相談お待ちしております

ITER学生プレントリー 登録フォーム



相談連絡先

ITER日本国内機関窓口

寺門 陽子 (Terakado, Yoko)

Email : jada-recruiting@qst.go.jp

Tel : 029-277-2980